

VOL.81
2024. September
TAKE FREE

MEGUT

VOTE THEM OUT

Mixture
Entertainment
Guide

Cover Artist
Special Interview

藤田貴大

自身が率いるマームとジブシーが2年ぶりの新作
「equal」の全国ツアー後半がスタート!

古典芸能コトハジメ

全国巡業公演から新機軸の舞台まで、
古典芸能にちょっと近づいてみませんか?

Special Interview

武田孝史

中村錦之助×中村隼人

豊竹若太夫

市山松扇

名古屋をどり(名古屋西川流)

南沢奈央

佐藤友紀(ARK BRASS)

ルドヴィート・カンタ×鬼頭久美子

上田 誠(ヨーロッパ企画)

〈掲載順〉



MEG Cover Artist
Special Interview

藤田貴大

藤田貴大率いるマームとジプシーが2年ぶりの新作「equal」の全国ツアー後半を開始する。今日マチ子の同名漫画をもとにした代表作「cocoon」で沖縄戦を長く取材している藤田だが、「equal」では自身の故郷である北海道伊達市を1年以上かけてリサーチ。幾多の史実や証言から、あらためて土地の記憶と出会い、創作へと駆り立てられた。同じセリフやシーンが何度も繰り返される「リフレイン」の手法を駆使しながら世界や歴史という大きな概念と人間一人ひとりの存在を誠実に対峙させてきた藤田は今、何を考え、演劇を生み出しているのか。率直な想いを語ってくれた。

—— 創作の経緯をお聞かせください。

2022年の「cocoon」ツアーは北海道も公演地だったのでも帰る機会があったんですよ。北海道は戦争の傷跡が少ないと聞いていましたが、調べてみると北海道にも戦争の時代はあった。戦争を調べることは数字と向き合うことでもあり、沖縄戦ではなく亡くなっています。その上で「cocoon」では何万人という括りではなく一人ひとりの顔を描きました。そういう公演が終わって伊達市界隈の戦争を調べ始めたんです。隣町の室蘭は製鉄所があったので艦砲射撃が2日間行われて八百十人が死んだとか、伊達も高校の最寄り駅が空襲にあって二十数人死んだとか。僕らの通学路でも誰かが死んだかもしれないという歴史を知りました。最初は直感的に始めたけど、2回目はもうカメラを持って伊達や室蘭の風景を押さえていました。図書館に

通ったり、かつて製鉄所に勤めていた方や伊達に住むいろんな職業の方に話を聞いたり、1年半ぐらい続けたのかな。20代も伊達を描いている自覚はあったけど、当時は子どもの頃の暖昧な記憶をもとにフィクションを立ち上げていたので、「equal」ではより史実に近いところで向き合えたらと考えました。

—— 取材を経て作品の核はどこに？

リサーチしていた時期はウクライナやパレスチナで起こっていることもあって世界中の戦争という響きが耳に入り、戦争に伴って起こっていること、例えば子どもが殺されるとか、女性たちはどういう扱いを受けているかとかニュースで知ることになります。そこでパレスチナやガザ地区に関する本を読むと、ひと段階遅れて何かを知るじゃないですか。それは

海外だからかと思っていたけど、もしかしたら身近な、ここ伊達でも起こっていたんじゃないかと……。「=」で結ばれてしまってはいけないことが世界中どこにでもあると思い始めた。予感が的中したというか、室蘭にも遊郭はあったとか、なんとなく聞いていたことが具体的に調べると的中していく。そこで史実を堅苦しく言葉にするだけじゃなく、リサーチした時の自分の中のザワつきや感触を舞台にあげられるかが重要だな。どの史実が核というより全体に受け取るものが大事だったんです。

—— 故郷の取材は主観的になりましたか。

結果それがいちばんやりたかったんじゃないかと思うんですよ。沖縄戦を調べる時はやっぱり客觀性がある。何十年も住んだ経験があるわけではないし、もしかしたら何十年過ご



—— 戦争を描き続けるのはなぜですか。

「cocoon」で大切にしていた言葉に「過去にとっての未来は今」があります。過去の人たちが思い描いた未来は今だとして、そんな言葉が浮かんだんです。沖縄戦で亡くなった人々は、こんなことはもう起こらない、友だちが目の前で死ぬようなことが起きてはいけないと思ったはず。でも連日、パレスチナで子どもたちが亡くなる映像がSNSで流れる。例えはじめゆり学徒隊のみなさんはこんな未来を望むはずはないのに、なんで過去から見た未来と今は矛盾するのか。矛盾するのが不思議だから、未来に対する手紙として戯曲を書いています。「cocoon」や「equal」は平和だった生まれない。こんな作品、本当に無いほうがいいです。本当に平和だったら表現も愉快なものだけかもしれない。でも、そうじゃない世界だから、映画も演劇もずっとあるんだと思います。こう語る時、未来に対してどういう態度をとるのか試されている気がするんですよ。僕だけじゃなく、大人みんなが試されている。何かを誰かに見せることが、相手が「今日見ていた風景とちょっと違う風景を見るかもしれない」という可能性を秘めた客商売。結局は未来に対するやっているんですよね。

© Interview & Text / 小島祐未子

© Photo / 安田慎一

TAKAHIRO FUJITA



してもわからないことに触れているので、知った気にはなりません。だから距離がある。舞台は一つの距離をもった客觀性や物事の冷靜に觀察する感覺みたいなものが成立していないと言えません。ただ、距離があっていいと言い続け、主觀性や自分の本当の手触りで描かなくていいのかとも…。辛いことだけど自分の中を一回通して込み上げてくるもの、アーティストとしてじゃなく個人的な怒りみたいなものに触れてみるのも大切だと思い、「equal」でやってみたんです。どういう感情になるのか緊張もあたし、稽古は正直、嫌なものに触れている感覚でした。そこで描いているのは史実だけじゃないのです。コロナ禍で身近な人が自死したり、病気で亡くなったりしたんです。その感触も敢えて舞台にあげて、その人たちと僕が今どういう距離でいるのか、自分を削るような覺悟で描いたのが「equal」なんです。

—— 友人の失踪を描いた2013年の作品「てんとてん」（※1）の設定を踏まえた「equal」は、より重層的なリフレインとも言えますね。

最近、本当の意味で話していたのか、話していたようで話せていないかったということに引かかっていて。人とちゃんと話せたことって複雑、無いような気がする。そして、ちゃんと話せたと思える人間だったら作家になつていいと思うんです。あるラッパーも言ってたけど、普段ちゃんと人と話せていないから言葉を精査したり推敲できる表現をやってるんじゃないとか。言葉に満足している人は台本や小説を書く行為がいいと思う。言葉を作品にしようとする人なんて少しおかしいに決まってるじゃないですか（苦笑）。言葉に対するコンプレックスにバグが起っているんです。その構造をなんとかできないかと思ってリフレインを複雑化してきたけど、今はもっとシンプルにしたい。僕自身まだ受け止め

切れていなくて、自死のことも喪失みたいなもの…。自分で全然整理できなくて、自分のコンディションが鏡のように作品に出てしまう。先日また帰郷して違う観点もできたので、次の公演はもうちょっと自分に正直にいけるかもしれない。作品の印象は変わると思います。

（※1. 正式なタイトルは「てんとてんを、むすぶせん。からなる、立体。そのなかに、つまっている、いくつもの。ことなった、世界。および、ひかりについて。）

—— 「会いたい人は会えない人だ」というセリフもありましたが、死者は記憶の中で生き続けても、声を聞けない悲しさが残ることを「equal」で再認識させられました。

音のレベルで人と向き合っているかはハラスメントの問題なども同じですね。本当にその人の言葉、声を聞いていたのか。コロナ禍でいろんな距離が生まれたじゃないですか。声を聞くて人間関係の原点みたいなところがありますよね。劇場の方とも話していたんだけど、なんでライブに行くかというと、人の声を聞きたいからだと。僕たちは会わ

マームとジプシー「equal」

（三重公演）10/26 SATURDAY・27 SUNDAY

【チケット発売中】
■会場／三重県文化会館小ホール
■開演／10月26日(土)18:00 10月27日(日)14:00
■料金(税込)／整理番号付き自由席
一般¥4,000 25歳以下¥2,000 18歳以下¥1,000
■お問合せ／三重県文化会館チケットカウンター TEL.059-233-1122

（豊橋公演）12/7 SATURDAY・8 SUNDAY

【会員先行／プラチナ会員、豊橋文化振興財団維持会員】10/5(土)～チケット発売
【一般10/19(土)～チケット発売】
■会場／穂の国よし芸術劇場PLAT アートスペース ■開演／毎日14:00
■料金(税込)／全席指定 一般¥4,000 25歳以下¥2,000 18歳以下¥1,000
■お問合せ／プラチナチケットセンター TEL.0532-39-3090

可児市文化創造センターala

TEL.0574-60-3050 《チケット購入・お問合せ》 <https://www.kpac.or.jp> 《チケット購入OK》

**10/9
WEDNESDAY
～14
MONDAY HOLIDAY**
**ala Collectionシリーズvol.15
「いびしない愛」**

■作/ 竹田モモコ ○演出/ マキノノミ ○出演/ 南沢奈央、東風萬智子、佐藤祐基、内藤裕志、神戸 浩
ふぞろいで、不格好だから
美しくて愛おしい。
節(ふし)工場に関わる人々のいびしない(汚れたり)愛と笑いを交え描いた竹田モモコの傑作戯曲。生きるこの愛おしさを伝える作品に演劇界の鬼才・マキノノミの演出と実力派の俳優陣で挑みます。

■会場/ 可児市文化創造センターala 小劇場
■開演/ 10月9日(水)～10日(木)、12日(土)
13日(日)～14日(祝)14:30
10月11日(金)18:30
10月12日(土)公演は手話通訳付き
■料金(税込)/ 全席指定 ¥7,000
25才以下 ¥2,500
■チケット取扱い/ 下記①
※未就学児入場不可



**10/17
THURSDAY**
**森山良子コンサートツアー
～My Story～ 2024**

森山良子、7年ぶりにアーラに登場!
数々のヒット曲を生み出し、デビュー55周年を迎えた今なお透明感のある歌声と歌唱力で魅了する森山良子の世界をどうぞお楽しみに!

■会場/ 可児市文化創造センターala 主劇場
■開演/ 16:00
■料金(税込) 全席指定 ¥7,000
■チケット取扱い/ 下記②③④⑤
※未就学児入場不可
■主催/ サンデーフォーキュロモーション

**11/2
SATURDAY**
**第5回 一五一会世界大会
& BEGINコンサート**

可児で生まれた楽器の競演
BEGINとヤイギターで共同開発したオリジナル楽器「一五一会」。全国各地から一五一会のふるさと、可児市に集まり世界大会を開催します。一五一会のワークショップや展示、そしてBEGINのライブも合わせて開催します。

■会場/ 可児市文化創造センターala 主劇場
■開演/ 14:30
【一五一会世界大会】14:30～16:30
【BEGINコンサート】17:00～19:15
■料金(税込) / 全席指定 ¥7,500 25才以下 ¥3,750
■チケット取扱い/ 下記①
※0歳から入場可
※未就学児の膝上鑑賞無料

**11/16
SATURDAY**
**オペラハイライト「カルメン」
ナレーション付き**

○指揮/ 角田銅亮 ○メゾソoprano/ 林美智子 ○テノール/ 中井亮一 ○バリトン/ 近野賢一 ○管弦楽/ セントラル愛知交響楽団

○Makoto Kojima ○Tori Hirawa ○Hiroyuki Nakai ○Akihiko Konishi
オペラの名作「カルメン」を歌手とオーケストラの演奏で楽しむ
近年目覚ましい活躍を見せる角田銅亮とセントラル愛知交響楽団、林美智子ら3人の実力派歌手の演奏で、前半はオペラ「カルメン」をハイライトで、後半はオペラの名アリアをたっぷりお聴かせします。

■会場/ 可児市文化創造センターala 主劇場 ■開演/ 14:30
■料金(税込) / 全席指定 ¥6,000 25才以下 ¥3,000 ■チケット取扱い/ 下記①
※未就学児入場不可
■主催/ セントラル愛知交響楽団

**12/14
SATURDAY
12/15
SUNDAY**
シリーズ恋文 vol.14

心に響く「恋文」を俳優による朗読とピアノ演奏で贈る、アーラオリジナル企画
秋田県二ツ井町(現・能代市二ツ井町)で開催されていた「日本一心のこもった恋文」コンテストの受賞作を集めた書籍から、いくつかの手紙を選択して台本を構成し、二人の俳優の語りで綴る舞台です。

■会場/ 可児市文化創造センターala 小劇場
■開演/ 14:00
■料金(税込) / 全席指定 ¥4,000 25才以下 ¥2,000
■チケット取扱い/ 下記①
※未就学児入場不可

**12/13
MONDAY HOLIDAY**
**新日本フィルハーモニー交響楽団
ニューイヤーコンサート 2025「新世界」**

○指揮/ 沼尻竜典 ○ピアノ/ 上原彩子 ○曲目/ ラフマニノフピアノ協奏曲 第2番、ドヴォルザーク:交響曲 第9番「新世界より」

新しい年の幕開けを沼尻竜典と上原彩子の共演で祝う
実力派指揮者の沼尻竜典と日本を代表するピアニストの一人上原彩子を迎えた、豪華な顔ぶれのニューイヤーコンサート。
上原の十八番と言えるラフマニノフのピアノ協奏曲 第2番とドヴォルザークの「新世界」で来たる年を祝います。

■会場/ 可児市文化創造センターala 主劇場
■開演/ 16:00
■料金(税込) / 全席指定 ¥7,000 25才以下 ¥3,500
■チケット取扱い/ 下記①
※未就学児入場不可

ala Collectionシリーズvol.15
「いびしない愛」
■チケット発売中

オールに響き渡る世界最高級のプラスサウンドに圧倒される!
超絶テクニックと高い音楽性に世界が絶賛する現代最高のプラス・アンサンブル アーク・プラスがやってくる!
ARK BRASS
スペシャルゲスト: 松井秀太郎・川田健太郎
11.6 (水) 開演 19:00
高松生以下
5,500円 3,000円
電気文化会館ザ・コンサートホール
プラス・アンサンブルのための「ソリ」組曲
ピアソラ: リベルタンゴ
松井秀太郎: 金管六重奏のための新作(初演)
ムソルグスキイ: 展覧会の絵
(金管重奏 & ピアノ/B・大橋亮一編) ほか
【主催】BS朝日・クラシック名古屋 【企画】STUDIO KAKO 【制作】オン・ザ・ライン

11.20 (水) 開演 18:30
全席指定
7,700円
電気文化会館ザ・コンサートホール
第1部 ソロ&クァルテット～パリは燃えているか～
NHK「映像の世纪」(ダフライエifikト)より パリは燃えているか、風のリフレイン、クラク・ボヤージュ、水の前奏曲より「夜」にほか
第2部 賢治から聴こえる音楽
永訣の朝
風の又三郎
銀河鉄道の夜 ほか

ご予約
お問合せ
クラシック名古屋
AIチケット 0570-00-5310
052-678-5310
AIチケット WEB 検索

チケット取扱い
①可児市文化創造センターala インフォメーション 0574-60-3050 <https://www.kpac.or.jp> ②チケットぴあ <https://t.pia.jp>
③ローソンチケット <https://l-tike.com> ④イープラス <https://eplus.jp> ⑤サンデーチケットセンター <https://www.sundayfolk.com/>

サラマンカホール

TEL.058-277-1110 《お問合せ》 <https://salamanca.gifu-fureai.jp/>

**10/26
SATURDAY**
**「清流の国ぎふ」文化祭2024
サラマンカホール30周年記念
スタニスラフ・ブーニン
ピアノ・リサイタル**

■曲目/ シャハンゼ・フィラ・ティア(同声・オルガン版) 倉長貴富「郡上おどり」想(委嘱初演)、「二十億年前の石」(委嘱初演)、シルヴェストロフ「クラクシナへの祈り」ほか
1994年サラマンカホール開館のこけら落とし公演でサイタルを行ったスタニスラフ・ブーニン氏が、今年30周年を迎えるサラマンカホールに再び登場いたします。10年に及ぶ長い闘病生活を乗り越えたブーニン氏の奏す「魂の音樂」をお聴きください。

■チケット発売中



■会場/ サラマンカホール ■開演/ 15:00 ■料金/ 入場無料(要整理券) ■要申込(応募多数の場合抽選)

**11/4
MONDAY HOLIDAY**
**「清流の国ぎふ」文化祭2024
ひと・むすぶ・こえ
～愛と平和を歌う合唱フェスティバル**

■曲目/ シベリエフ「フランディア(同声・オルガン版) 倉長貴富「郡上おどり」想(委嘱初演)、「二十億年前の石」(委嘱初演)、シルヴェストロフ「クラクシナへの祈り」ほか
世界中のひとびとが、言葉や人種や宗教の違いを越え、わからせられた、どんなにいいだろう。たくさんの声が集まりびび「合唱」――この古くて新しい祈りの形に、私は希望を発見し続ける。おとなごどもも、プロもアマチュアも、隣の壁なく、サラマンカホールに交響する声たち。(音楽監督 信長貴富)
■指揮/ 高谷光信、岩本達明 ■ゲスト/ 宮本益光(バリトン)、東京混声合唱団
■管弦樂/ 祭祭オーケストラ(法人創立70周年記念 名古屋芸術大学オーケストラ・ピアノ・弦楽器貸与プロジェクト「STROAN」メンバーによる)
■合唱/ 合唱団MIW(大垣市)、岐阜県立岐阜高等学校音楽部(岐阜市)、TAJIMI CHOIR JAPAN 多治見少年少女合唱団とシニアコア(多治見市)、フォーラム21少年少女合唱団(一宮市)、サラマンカ少年少女合唱団CORO NAGO(岐阜市)
■ピアノ/ 小見山純一、高田恵子 ■ハイオルガン/ 今村初子、大平健介
■司会/ 市橋里音奈(岐阜)、まるつ・ぎふ(キャスター)



■会場/ サラマンカホール ■開演/ 15:00 ■料金/ 入場無料(要整理券) ■要申込(応募多数の場合抽選)
■場整理券申込方法 [申込期間] 10月31日(水)～11月20日(金)
○Web: p-tix.jp ○TEL: 058-277-1119 ③お電話(サラマンカホール事務室 TEL.058-277-1113)
■チケット発売中

※1つの申込につき最大4名様までさせていただきます
※応募多数の場合は抽選となります
当選発表は入場整理券の発送をもってお伝えさせていただきます(10月初旬に発送予定です)
※車いす席希望など配慮を必要とされる方はその旨を記載してください



**11/23
SATURDAY HOLIDAY**
**「清流の国ぎふ」文化祭2024
新作! 舞踊「関ヶ原」**

■チケット発売中

○出演/ 日本舞踏家集団「弧の会」、邦楽囃子方集団「若獅子会」、大平健介(ハイオルガン) ○ハイオルガン作曲/ 谷川貢作 ○演奏/ 创作舞踏「若獅子」、ハイオルガン・独奏、邦樂曲「虎と獅子」、舞踊「関ヶ原」(全5景)第一景:合戦、第二景:細川ガラシャ、第三景:三成の葛藤、第四景:戦況、第五景:鎮魂～和平
■会場/ サラマンカホール ■開演/ 14:00 ■料金(税込) / 全席指定 SYT6,900(完売) AY8,600(完売)
※未就学児入場不可

**12/7
SATURDAY**
**仲道郁代 ベートーヴェンの宇宙
第3回「見出した新しい道」**

■チケット発売中

○曲目/ 仲道郁代 ○チョロ/ 佐藤晴真(特別ゲスト) ○ナビゲーター/ 浦久後彦

○ナビゲーター/ 浦久後彦

「仲道郁代 ベートーヴェンの宇宙(全6回)」は、サラマンカホールのために仲道郁代が企画した特別な演奏会シリーズです。第3回「見出した新しい道」では、常に新しい語法や作曲方法を見出しながら前向きに音楽表現を切り拓いていくベートーヴェンの侧面を探ります。

■曲目/ 浦久後彦によるガイドトーク、ベートーヴェン・ショパン・ソナタ第3番(長調作品69) チェ・佐藤晴真(特別ゲスト)、ピアノ・ソナタ第14番(エドワード・ソナタ第23番) ハ短調 作品57「熱情」

■会場/ サラマンカホール ■開演/ 14:00 ■料金(税込) / 全席指定 SY4,000 AY2,000 学生半額(30歳まで)
■チケット取扱い/ 下記①④
■Pコード / 271-844 ③未就学児入場不可

**12/20
FRIDAY**
**コトバとピアノデュオ～手紙シリーズ6
惑星からの手紙**

■チケット発売中

○ピアノ/ 石原佳世、岡崎章(翻)・藤卓也 ○曲目/ ホルスト「惑星」全曲(岡崎章 新編曲ピアノデュオ版)
惑星からの手紙は光。ひかりを読んだのは音楽家ホルスト。いま、わたしたちが読もうとしているのはホルストからの手紙。七通のひかり。
グスターブ・ホルストが音楽という宇宙に浮かべた七つの惑星。それぞれの星によせた言葉。火星「戦いをもたらすもの」、金星「平和をもたらすもの」…もし、ホルストがもう一つの惑星「地球」を描いたら、どういう言葉を書いただろうか…。石原佳世・岡崎章ピアノデュオが自らの新編曲を初演。卓越したナレーター後藤卓也が宇宙への旅を案内する「手紙シリーズ6」第6弾。

■会場/ サラマンカホール ■開演/ 19:00 ■料金(税込) / 全席指定 一般¥1,000
■チケット取扱い/ 下記①④
■Pコード / 271-859 ③未就学児入場不可



語り/後藤卓也

チケット取扱い
①サラマンカホール チケットセンター 058-277-1110 <https://p-ticket.jp/salamanca/> ②チケットぴあ <https://t.pia.jp>
③ローソンチケット <https://l-tike.com> ④イープラス <https://eplus.jp>

小井士 文哉
ピアノ・リサイタル
11.30 (土) 14:00
開演
3,000円
電気文化会館ザ・コンサートホール

ドビュッシー
2つのアラベスク ベルガマスク組曲
スクリャビン
2つの詩曲 op.32
ピアノ・ソナタ 第2番「幻想ソナタ」嬰ト短調 op.19
ショーマン
ピアノ・ソナタ 第1番 嬰ヘ短調 op.11

2公演セット券
5,500円

劇場・音楽堂等における
子供舞台芸術鑑賞体験支援事業
詳しくはクラシック名古屋 HP をご覗ください。
○井上重人 ○JUNICHIRO MATSUO

チケット取扱い
○チケットぴあ 0570-00-5310
○ローソンチケット WEB 検索

戸澤采紀
ヴァイオリン・リサイタル
江崎萌子(ピアノ)
12.2 (月) 14:00
開演
3,000円
電気文化会館ザ・コンサートホール

フォーレ
ヴァイオリン・ソナタ 第1番 長調 op.13
チャイコフスキイ
懐かしい土地の思い出 op.42
シューマン
ヴァイオリン・ソナタ 第2番 短調 op.121

※全席指定・税込
※やむを得ない事情で出演者、曲目等変更になる場合がございますのでご了承ください。
※車椅子をご来場されるお客様はご購入前に必ずクラシック名古屋までお問合せください。

第42回 名古屋クラシックフェスティバル いよいよ開幕!

世界最高峰の芸術をあなたに!

指揮界のカリスマ、ラトルを迎えて再始動 漢身のマーラー!

サー・サイモン・ラトル 指揮 バイエルン放送交響楽団

名門ベルリンフィルの音楽監督として
一時代を築いた指揮界の大マエストロが
名古屋クラシックフェスティバル初登場!
マーラーの傑作、交響曲第7番で
ドイツの誇る名門とともにその真価を問う!

パートゥイブル:サイモンへの贈り物2018

マーラー:交響曲 第7番 ホ短調「夜の歌」

11/29(金)18:45 愛知県芸術劇場コンサートホール

S¥42,000 A¥35,000 B¥~~30,000~~ C¥~~30,000~~ D¥~~30,000~~ E¥~~30,000~~ 学生¥3,000



ショパン・コンクールの覇者が
ドイツの誇る名門と挑む名曲プログラム

大和証券グループ Presents

アラン・アルティノグル 指揮 フランクフルト放送交響楽団 ブルース・リウピアノ

ワーグナー:樂劇「ニュルンベルクのマイスターインガ」より第1幕への前奏曲
ベートーヴェン:ピアノ協奏曲 第5番 変ホ長調 op.73 「皇帝」
ムソルグ斯基:組曲「展覧会の絵」

特別協賛: 大和証券グループ

10/18(金)18:45 愛知県芸術劇場コンサートホール

S¥28,000 A¥25,000 B¥~~20,000~~ C¥~~20,000~~ D¥~~20,000~~ E¥~~20,000~~ 学生¥3,000



高い芸術性と野性的直感
マルチな才能を発揮するピアニスト

エレーヌ・グリモー ピアノ・リサイタル

ベートーヴェン:ピアノ・ソナタ 第30番
ブラームス:幻想曲集 op.116
バッハ/ブゾーニ:シャコンヌ ほか

9/29(日)14:00 愛知県芸術劇場コンサートホール

S¥9,500 A¥8,500 B¥6,500 C¥5,500 学生¥~~4,500~~



ヴァイオリンとピアノ、ヴィルトゥオーゾ
2人による夢の共演が実現!

樋本大進 & ラファウ・ブレハッチ デュオ・リサイタル

モーツアルト:ヴァイオリン・ソナタ 第17番
ベートーヴェン:ヴァイオリン・ソナタ 第7番
フランク:ヴァイオリン・ソナタ イ長調 ほか

12/20(金)18:45 愛知県芸術劇場コンサートホール

S¥12,000 A¥10,000 B¥8,000 C¥6,000 学生¥2,000

※プログラム内容、出演者等変更になる場合がございます。あらかじめご了承ください。※未就学児のご入場はご同伴の場合でもお断りいたします。※価格はすべて税込です。



文部科学省 子供文化芸術支援事業

18歳以下 無料ご招待

※11/29(金)バイエルン放送交響楽団の公演は、プログラムの都合上高校生以上推奨

詳しくは下記ホームページをご覧ください。

学生券 抽選
26歳以下
学生証提示

ホームページ(<https://cte.jp/42cf/>)よりエントリーしてください。公演1ヶ月前に抽選の上、ご登録メールアドレスに当落結果のご連絡をいたします。

※一般席と並びでご購入されたい場合:公演1ヶ月前に残席がある場合に限り、並びでご予約いただけます。詳しくは中京テレビクリエイションまでお問い合わせください。

お問い合わせ

中京テレビクリエイション ☎ 052-588-4477 <https://cte.jp/42cf/>

〒453-8701 名古屋市中村区平池町四丁目60番地11 中京テレビ本社ビル7F

(平日 11:00~17:00)

